

令和4年度版
千曲市公共施設個別施設計画
文化施設・図書館編



令和4年3月
長野県千曲市

— 目 次 —

1. 計画策定の背景、目的と位置付け	
(1) 計画策定の背景と目的	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 計画対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	2
(2) 計画期間	2
3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題	2
4. 対策の優先順位の考え方と施設評価	3
5. 個別施設の状態等（基礎調査）	
(1) 劣化度・老朽化度調査	4
6. 対策内容と実施時期（実施計画）	
(1) 再配置に関する基本方針	4
(2) 保全に関する基本方針	4
(3) 工程表	5
(4) 対策費用	5
7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて	
(1) フォローアップ及び実施体制	6
(2) 改訂に関する考え方	6

1. 計画策定の背景、目的と位置付け

(1) 計画策定の背景と目的

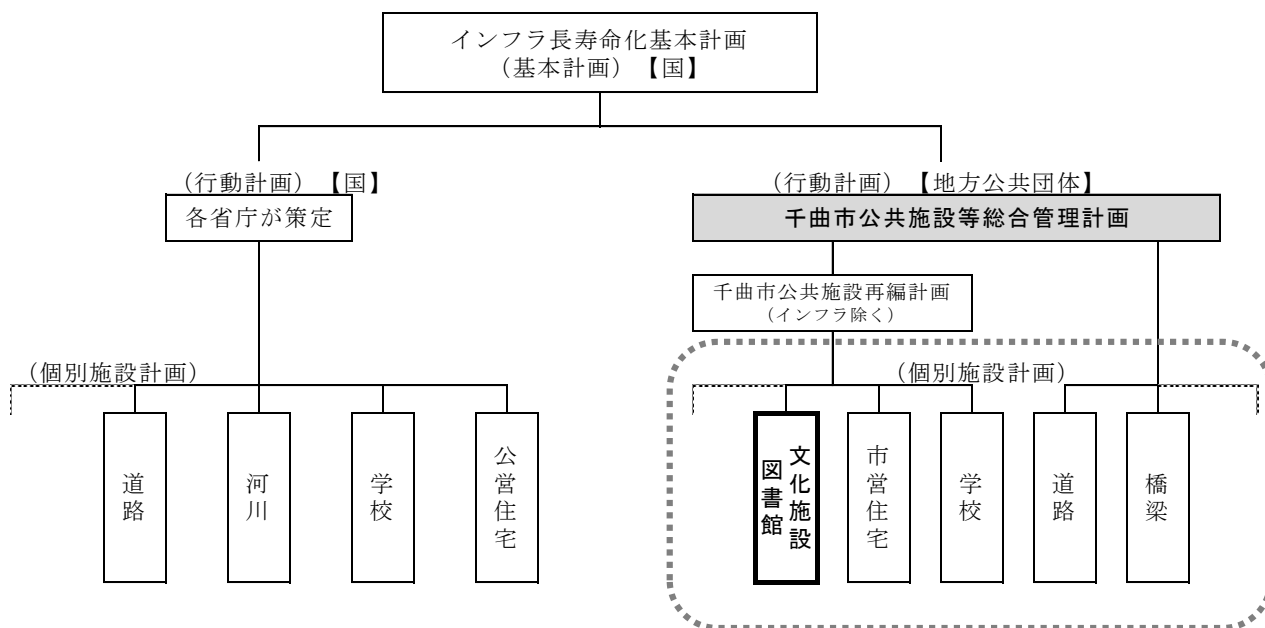
公共施設等の長寿命化対策については、平成 25 年 11 月に国において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、平成 26 年 4 月に地方公共団体においても公共施設等総合管理計画を策定するよう求められました。

本市においても、公共施設等の総合的かつ計画的な施設の維持管理を進めるうえでの基本的な方針として「千曲市公共施設等総合管理計画」を平成 28 年 3 月に策定しました。

「千曲市公共施設個別施設計画 文化施設・図書館編」は、「千曲市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、個別施設ごとの維持管理・更新等の対策の内容や実施時期などをまとめた計画として策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」を踏まえ、本市における公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針として策定した「千曲市公共施設等総合管理計画」を最上位計画とし、総合管理計画と本計画とを橋渡しする「千曲市公共施設再編計画」を上位計画とします。



2. 計画対象施設、計画期間

(1) 対象施設

本計画は、本市が所有する公共施設のうち、以下の文化施設・図書館を対象とします。

No.	施設名	建築年月	経過 年数	耐用 年数	主構造	延床面積 (㎡)	備考	
1	更埴文化会館	H2(1990).3	32	41	R C	5,626.26		
2	上山田文化会館	S55(1980).3	42	41	R C	5,006.30	上山田公民館との 複合施設	
3	戸倉創造館	H5(1983).3	29	41	R C	4,316.26	戸倉公民館・戸倉 図書館との複合施設	
4	更埴図書館	既存部分	S55(1980).3	42	50	R C	717.52	
		増築部分	H2(1990).3	32	50	R C	255.86	

※経過年数…令和4年4月1日現在

※耐用年数…「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き(平成26年9月30日 総務省事務連絡)別紙3」及び「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年大蔵省令第15号)」により設定

※主たる構造…R C：鉄筋コンクリート造



(2) 計画期間

本計画の期間は、令和3(2021)年4月から令和13(2031)年3月までの10年間とします。

3. 計画対象施設を取り巻く現状と課題

【更埴文化会館】

通常、利用人数は年間90,000人から100,000人程度。大ホールの客席数760席は利用者にとって使いやすい規模であり、交通の利便性も良い立地条件でもあり多くの方に利用されています。

令和元年東日本台風による被害のため令和4年1月まで災害復旧工事を行い、令和4年4月から再開館となります。

更埴文化会館は更埴図書館と一の建物となっており、インナーコリドーなどは誰でも利用可能

な部分となっています。更埴文化会館の大ホール、小ホール、他会議室等の利用頻度は高く、また、更埴図書館は常に利用者がいる施設になります。冷暖房等空調設備、トイレを含む給排水施設は常時使用されています。

【上山田文化会館】

上山田公民館との複合施設であり、ホールの利用者以外でも会議室を含め年間を通して利用者の多い施設です。

大ホールの客席数が 950 席と市内で一番の規模を有しています。年間の利用人数は 25,000 人から 30,000 人程度。近年施設の老朽化が目立ってきていること、駐車場が小さい等運営に苦慮する面があります。

【戸倉創造館】

戸倉公民館、戸倉図書館を含む複合施設であり、ホールの利用者以外でも会議室を含め年間を通して利用者の多い施設です。

【更埴図書館】

更埴文化会館と建物を一にしており、年間を通して利用者の多い施設となっています。

各施設共に老朽化が進み、修繕箇所が多くなっています。設備を更新する時期も迫っており、多くの改修が必要となっています。

各施設の利用状況

施設名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
更埴文化会館	105,255 人	96,959 人	93,557 人	92,659 人	44,567 人
上山田文化会館	27,123 人	27,992 人	26,458 人	30,290 人	38,912 人
戸倉創造館	46,648 人	44,396 人	47,852 人	53,241 人	50,632 人
更埴図書館	46,267 人	43,839 人	42,777 人	43,906 人	33,964 人

※更埴文化会館は令和元年東日本台風被害のため令和元年 10 月 13 日より休館

4. 対策の優先順位の考え方と施設評価

利用者の安全面を最優先に考え、建物の経過年数、利用状況等から建物の劣化状況を調査するとともに定期点検を実施し、不具合や危険箇所の早期発見に努め、適切な維持管理を実施していきます。

5. 個別施設の状態等（基礎調査）

（1）劣化度・老朽化度調査

施設状況の的確な把握、改修等の時期を検討するため、目視による劣化状況調査を実施し、各施設の劣化状況を評価しました。

施設名	劣化状況の評価						劣化度
	屋根	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	所見・特記事項等	
更埴文化会館	C	B	B	C	C	耐用年数が切れている設備等の更新が必要	C
上山田文化会館	C	C	C	C	C	耐用年数が切れている設備等の更新が必要	C
戸倉創造館	B	C	B	C	C	外壁損傷による雨漏りが深刻	C
更埴図書館	C	C	C	C	C	書架等の耐震化・サッシ類の更新が必要	C

※劣化度＝良好 A → 劣化 C

6. 対策内容と実施時期（実施計画）

（1）再配置に関する基本方針

利用人数等偏りはあるものの複数の施設、利用形態がある複合施設であり、いずれも規模の大きい施設であり、地域の活性化の拠点となるよう、人が集まり、賑わいが創出されるような方策を検討していくことにより、積極的な活用を図っていくことが考えられます。

公共施設再編計画では、文化施設は「機能が重複している施設は、利用状況や維持管理費、施設・設備の状態を考慮して総量縮減を図る」とされています。

今後の利用状況の推移を踏まえながら、利用度の低い施設については更新を機に統廃合を検討することも考えられます。

（2）保全に関する基本方針

施設の長寿命化改修、修繕等を計画的に実施していくことで、劣化等の進行を遅らせるとともに安全性等にも配慮しつつ、長寿命化を図ります。

更埴文化会館は令和元年東日本台風被害からの復旧工事により地階に配置されている設備が更新されましたが、1階・2階の設備や屋根等も劣化が進んでいます。建築から既に30年以上経過しており、老朽化が目立つ受変電設備、屋根、スプリンクラー等消火設備、外壁の改修工事を進め、計画的に長寿命化を図ります。

上山田文化会館は、建築から既に40年以上経過し設備等の老朽化が進行しています。令和6年度は地下トイレ改修等を行い、令和11年度には舞台機構の改修を行うなど、長寿命化を図るための改修工事等を計画的に行います。

戸倉創造館は、建築から29年を経過し、建物外壁や屋根、機械設備、電気設備の劣化が進んでいます。緊急性の高いところから計画的に修繕や工事を進め、長寿命化を図ります。

更埴図書館は、建築から既に40年以上経過し、内装や設備の老朽化が進行しているため、図書館としての機能を保持するために老朽箇所の調査を行い、可能な限り長寿命化を図ります。

(3) 工程表

施設名	建築年度	耐用年数	計画期間 (年度) 上段: 対策内容 下段: 対策費用 (単位: 千円)										対策費用合計	対策により期待される効果	
	経過年数	目標使用年数	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030			
更埴文化会館	H元	41	改修	実施設計	改修	実施設計	改修								目標使用年数までの機能維持
	32	80	34,650	3,000	28,000	1,000	8,063						74,713		
上山田文化会館	S54	41			実施設計	改修				実施設計	改修				目標使用年数までの機能維持
	42	80			5,000	25,000				2,000	11,000		43,000		
戸倉創造館	H4	41	修繕		修繕・実施設計	改修	実施設計	改修							目標使用年数までの機能維持
	29	80	1,375		2,000	9,000	10,000	100,000					122,375		
更埴図書館	S54	50		改修	点検・調査	実施設計	改修					改修			目標使用年数までの機能維持
	42	80		220	1,000	1,400	13,000					677	16,297		
対策費用合計			36,025	3,220	36,000	36,400	31,063	100,000	0	2,000	11,000	677	256,385		

※令和3年度(2021年度)は決算見込額、令和4年度(2022年度)は予算額、令和5年度(2023年度)以降は計画額

(4) 対策費用

(概算)

【更埴文化会館】

- R3(2021)年度: 34,650千円 受変電設備改修工事
- R4(2022)年度: 3,000千円 屋根改修工事实施設計(2,000千円) / スプリンクラー改修工事实施設計(1,000千円)
- R5(2023)年度: 28,000千円 屋根改修工事(22,000千円) / スプリンクラー改修工事(6,000千円)
- R6(2024)年度: 1,000千円 外壁改修工事实施設計
- R7(2025)年度: 8,063千円 外壁改修工事

【上山田文化会館】

- R5(2023)年度: 5,000千円 地下トイレ等改修工事实施設計
- R6(2024)年度: 25,000千円 地下トイレ等改修工事
- R10(2028)年度: 2,000千円 舞台機構改修工事实施設計
- R11(2029)年度: 11,000千円 舞台機構改修工事

【戸倉創造館】

- R3(2021)年度: 1,375千円 屋根及び外壁修繕
- R5(2023)年度: 2,000千円 舞台機構交換修繕(1,000千円) 高圧電源受電設備更新工事实施設計(1,000千円)
- R6(2024)年度: 9,000千円 高圧電源受電設備更新工事
- R7(2025)年度: 10,000千円 建物外部改修工事实施設計
- R8(2026)年度: 100,000千円 建物外部改修工事

【更埴図書館】

R4(2022)年度：220 千円 Wi-Fi 設置工事

R5(2023)年度：1,000 千円 劣化度調査

R6(2024)年度：1,400 千円 長寿命化改修工事実施設計

R7(2025)年度：13,000 千円 長寿命化改修工事（11,000 千円）/
書架等耐震化修繕（2,000 千円）

R12(2030)年度：677 千円 屋根修繕（500 千円）/給排水修繕（177 千円）

※具体的な費用は、施設の方針が定まり次第、算出するものとします。

7. 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

（1）フォローアップ及び実施体制

本計画の進行管理は、所管課である文化課、生涯学習課が行います。

文化課は更埴文化会館、上山田文化会館の劣化状況及び利用状況等を把握することにより、また、生涯学習課は戸倉創造館、更埴図書館の劣化状況及び利用者状況等を把握することにより施設の保全に関する本計画の進行を図っていきます。

（2）改訂に関する考え方

各施設の劣化状況や今後の定期的な点検結果及び利用者の状況等に応じ、見直しを行っていくほか、上位計画である「千曲市公共施設等総合管理計画」との整合性を図りつつ、国の動向及び社会情勢等の変化を把握しながら5年ごとに見直しを行います。更に工程表は、計画の実現性を高めるため、毎年度ローリングします。

毎年度の取組状況は、千曲市公共施設等総合管理計画推進本部において点検し、議会へ報告するとともにホームページ等で公表します。

千曲市公共施設個別施設計画

文化施設・図書館編

令和3年3月策定（毎年度更新）

千曲市総務部財政課

〒387-8511 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地

TEL 026-273-1111(代) FAX 026-273-1004

E-mail : zaiseika@city.chikuma.lg.jp

（本計画を策定した課・施設所管課）

千曲市教育委員会 文化課